

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1)資産の評価基準及び評価方法

##### ①有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のないもの…移動平均法による原価法を採用しております。

##### ②棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

#### (2)固定資産の減価償却の方法

##### ①有形固定資産

建物附属設備、器具備品は定率法を採用しております。

##### ②無形固定資産

ソフトウェアは定額法を採用しております。

#### (3)引当金の計上基準

##### ①退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における要支給額を計上しております。

#### (4)その他財務諸表の作成に関する重要な会計方針

##### ①リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

##### ②消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,020,000,000	—	—	1,020,000,000
小 計	1,020,000,000	—	—	1,020,000,000
特定資産				
昭和天皇記念館 修繕積立金	50,000,000	—	—	50,000,000
昭和天皇記念館 特別展示積立金	12,000,000	—	—	12,000,000
学術研究助成基金	2,700,000	—	300,000	2,400,000
投資有価証券等	235,000,000	—	—	235,000,000
小 計	299,700,000	—	300,000	299,400,000
合 計	1,319,700,000	—	300,000	1,319,400,000

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	1,020,000,000	—	(1,020,000,000)	—
小 計	1,020,000,000	—	(1,020,000,000)	—
特定資産				
昭和天皇記念館 修繕積立金	50,000,000	—	(50,000,000)	—
昭和天皇記念館 特別展示積立金	12,000,000	—	(12,000,000)	—
学術研究助成基金	2,400,000	—	(2,400,000)	—
投資有価証券等	235,000,000	—	(235,000,000)	—
小 計	299,400,000	—	(299,400,000)	—
合 計	1,319,400,000	—	(1,319,400,000)	—

### 4 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	559,545,908	448,435,838	111,110,070
器具備品	435,712,719	409,620,162	26,092,557
合 計	995,258,627	858,056,000	137,202,627

### 5 助成金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

助成金等の 名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照 表上の記 載区分
助成金 新聞発行助 成金	財団法人 日本宝くじ協会	—	6,300,000	6,300,000	—	—
合 計		—	6,300,000	6,300,000	—	—

## 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の2に記載しております。

### 2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,990,000	—	1,120,000	—	1,870,000
合 計	2,990,000	—	1,120,000	—	1,870,000